

## 平成30年度 音楽科実践・研究計画

部 員	○大山光子, 小林葉子
-----	-------------

研究テーマ

**音を奏でるよさを味わい、思いと音を重ねる子どもを育む学び**

### 1 研究テーマについて

音楽科においては、子どもたちが将来にわたって生活や社会の中の音や音楽と豊かな関わりを築き、生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指している。音楽科の学習で学んだことを、校内外における様々な活動に生かしながら、子どもたち自身が、音楽が生活を豊かにし潤いを与えてくれる存在になっていることを実感できるようにしたい。さらに、子どもたちが自ら培ってきた音楽経験を生かして、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を育てていかななくてはならない。そのためにも、音楽経験を広げる表現や鑑賞の学習活動を意図的に設定することが不可欠である。また、表現の工夫をするためには、演奏に関する確かな技能の習得が必須になることは言うまでもない。

音楽科における「自律した学習者」とは、感性を働かせ自分の思いをもち、歌ったり演奏したり、鑑賞したり音楽づくりをしたりするなど、思いと知識や技能の習得を往還させながら、音を通して表現できる子どもととらえる。「学びをつなぐ」ことを音楽科では、それまでの音楽経験をもとに、自分にできていることは何で、できていないことや足りないことは何かをはっきりと分かり、そのために自分は何を身に付けたらよいかを自覚できることととらえる。「この部分は曲想が変わるので強弱に気を付ける」と言葉で表して分かるだけでなく、強弱を表現できる技能も大切になってくる。思いを表現するために必要となる技能を、音楽活動の中で繰り返し磨いていくこと、積み重ねていくことが肝要である。

そこで、音楽科では研究テーマを「音を奏でるよさを味わい、思いと音を重ねる子どもを育む学び」とした。「音を奏でるよさ」とは、自らまたは仲間と一緒に音を奏でることによって得られる心地よさの体感や音楽経験から得られる感動の共有と考える。「思いと音を重ねる」とは、「歌詞の内容から優しい感じがするので、弱めに柔らかい音色で演奏したい」「急に落ち着いた感じの曲想に変化したのは、速度が突然遅くなったからなんだ」など、自分自身の感じ方を通して音の事象として音楽をとらえ、その音楽とそこから呼び起こされた心の動きを結び付けていくことである。自分の思いを大切にしたい音楽活動をするためにも、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な音楽的な「見方・考え方」を学習の支えとし、子どもたちが学習の質的な高まりや深まりが実感できる授業づくりをしていかななくてはならないと考える。

音楽科における「学びをつなぎ、資質・能力を高めていく子どもの姿」を次のようにとらえる。

- ・自分の思いをもち、表現したり、鑑賞したりする姿
- ・知性と感性の両方を働かせて、願いをもって音楽に働きかける姿
- ・表現や鑑賞に必要な知識を更新し、技能を習熟しようとする姿
- ・自分の経験を生かし、生活の中に音楽を生かそうとする姿

## 2 研究の重点

### (1) 鑑賞と表現を融合させた学習活動を取り入れる題材構成の工夫

楽曲構成に着目し、音楽を形づくっている要素のかかわり合いやそれらが生み出す働きに気づき、演奏や音楽づくりに生かしていくことができるように、鑑賞の学習では、「楽曲を聴く」「音楽づくりをする」「演奏する」活動を適切に組み込み、高めたい資質・能力に応じて題材構成を工夫していく。これらの実践を通して、知性と感性の融合のもと、音楽を構造的にとらえる思考を培うことができるようになる。

### (2) 音楽的な「見方・考え方」を働かせた学習活動の設定

音楽を形づくっている要素や仕組みを手がかりとして考えたり、音を出して試したり、体を動かしたりなどの活動を通して、自分らしく表現したり聴いたりできるような場面を充実する。音楽的な「見方・考え方」を根拠として示したり、五感を使ったりして考える活動を取り入れる。また、これまでに獲得した知識・技能を活用して新たなアイデアや考えを生み出し、表現や聴き方に生かすことができるように、発達段階に応じて学びの記録を残していく。

## 3 研究・研修計画

時 期	主な研究・研修行事	研究・研修内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回校内研修会（5/29） 提案授業（小林：3 B）</li> <li>・ 附属中学校公開研究協議会（6/1）</li> <li>・ 附属小学校公開研究協議会（6/8） 提案授業（大山：1 A, 小林：3 B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践・研究計画の確認</li> <li>・ 授業づくり，授業力向上</li> <li>・ 授業を通して重点事項の検証</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究紀要原稿執筆</li> <li>・ 教科部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践・研究のまとめ</li> <li>・ 実践・研究の修正</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回オープン研修会（1/24） 提案授業（大山：1 A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業づくり，授業力向上</li> <li>・ 実践・研究計画の立案</li> </ul>

通年：年間指導計画及び資質・能力表の加除・修正